



共生の里だより

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字関町後 187 番 4 TEL: 018-828-1125 FAX: 018-828-1126
発行者 社会福祉法人 秋田福祉協会 特別養護老人ホーム 共生の里

Vol. 6

令和 7 年 3 月 20 日 発行

祝101歳おめでとう!



百一賀おめでとうございます。長い月日を重ね、多くの経験を積んでこられたお姿に心より敬意を表します。また、常に相手のことを思いやる気持ちに感銘を受け、私たち職員も日々学ばせていただいております。本当にありがとうございます。毎日元気で過ごされている姿に私たちも励まされています。これからもずっと笑顔を決やさずに元気いっぱいいてください。また一緒に楽しい時間をたくさん過ごしていきましょう。お祝いの気持ちを込めて心からお慶び申し上げます。

栗田ユニットリーダー 菅原



百一賀のお誕生日おめでとうございます。百歳を超えてもなお、元気なお姿に私たち職員はいつも励まされ元気を頂いております。人生の歴史の一部になったことを私たちはとても幸せに感じております。百二年目の歴史を刻むときも一緒にお祝いをさせていただきます。百一年の歩みに敬意を表し、これからも素晴らしい日々をお過ごしただけますようお願いいたします。

大森山ユニットリーダー 佐藤

秋田福祉協会では一緒に働く仲間を募集しています

正社員

- 生活支援員……若干名 (障害者施設勤務)
- 介護職員……若干名 (高齢者施設勤務)
- 事務職員……若干名 (法人事務局勤務)

お問い合わせ

総務課・田仲
018-828-1125

ホームページで施設を紹介しています。是非ご覧ください。

<https://akitafukushi.jp>

キャッスルベーカリーコーナー

10月に共生の里の地域交流スペースにキャッスルホテルのパン移動販売が来ました！共生の里では初開催です。地域の方々にもお越しいただき、入居者様からも好評でした。次の開催が待ち遠しいです！



管理栄養士より



特別養護老人ホーム 共生の里 管理栄養士 岸部真紀

入居者様の食事の様子を見に行くと、「今度は〇〇が食べたい。」「この間の〇〇が美味しかったからまた提供してほしい。」などという声が聞かれ、食事への興味・関心の高さがうかがえます。

また、当施設には透析治療のため、週3回通院されている入居者様が数名おります。ベッド上で1日3～4時間過ごさなければいけない透析治療は、精神的にも肉体的にも苦痛を伴うのか、入居者様の中には「今日帰ってきたら〇〇のメニューが食べられるね。それを楽しみに透析治療をがんばってくるね。」と言い病院へ向かわれる方もおります。

こうした声を聞くと、食べることは入居者様の「生きる」支えになっているように感じられ、これまで以上に一食一食の食事提供の大切さを考えるようになりました。

今後も厨房スタッフの協力を得ながら、入居者様の心と体の健康につながるような食事を提供できるよう努めていきたいと思っております。

編集後記

表紙写真(右側)の太田様(101歳)はご逝去され、ご遺族様の了解のもと掲載いたしました。ご冥福をお祈りいたします。まだまだ寒い日が続きますが、特養では暖かい笑顔が溢れる毎日です。感染症対策のためまた予約制でのご面会ですが、皆様のご理解ご協力を感謝いたします。引き続き、健康に気をつけて過ごしていきましょう！

(広報委員会一同)



生きようとする意欲を引き出し
どう高めるか

社会福祉法人秋田福祉協会 理事長・統括管理者
瀬田川 榮一

三十年以上にフランスの老人施設を視察したことがある。その時の施設責任者が説明している中で、「生きようとする意欲の高い人を優先して入所させる」と言い切ったことを思い出される。その施設の平均年齢は九十九歳であった。施設はプールや絵画教室などを併設し、若い女性のウエイトレスが一人一人の注文を聞き利用者さんが食事を楽しんでいる様子も見て取れた。

時代も違うし、日本の介護保険制度などの違いはあると思うが、『生きようとする意欲』については見習うべきではないかと思う。今の制度の中でも、どう生きる意欲を高めるのか。それは私たち特養施設で最も大事にしなければならないことと思うがどうだろう。生きる意欲を引き出し、高めるためにできるだけ多くの入所利用者さんに目標を持っていただくよう全役職員が努力することが大事と思われる。これまでもコロナ禍で家族との面会は一時を除いて実施してきた。家族の方々が利用者さんを励ます事で元気にし、笑顔を見せてくれたからだ。

私みたいな凡人には難しいことだが、皆様や地域から様々なアイデアや教えを賜り、できることから取り組んでいきたいと思っている。うちの職員の介護技術は非常に高い人が多いと思っている。これはこれでとても大事なことだが、その中心に『生きようとする意欲・目標』をどう引き出すかが重要なことと思う。三十数年前の責任者の言葉が非常に重いものだと感じている。

敬老会

敬老会では、綺麗に着飾った入居者の皆様が少し緊張しながらも式典に参加されていました。一人一人にプレゼントが手渡され、記念写真を撮ることで、普段とは違う素敵な姿を拝見することができました。心温まるひとときでした。

クリスマス会

サンタクロースからのプレゼントに、入居者の皆さんはとても喜び、笑顔が溢れていました。嬉しそうな様子が印象的でした！



男鹿半島ユニット



男鹿半島ユニットは男性5名、女性5名の入居者様1人1人好きなことをしながら穏やかに過ごされております。身体を動かす事が好きな入居者様が多く、1人1人に合った余暇活動を大切にしつつ、新しい事へも挑戦して頂き、楽しく健康的に過ごして頂けるようサポートさせて頂いております。一緒に過ごしているスタッフ一同も毎日楽しく過ごさせていただいており、笑顔が絶えないユニットです。

男鹿半島ユニットリーダー 佐藤(愛)

太平山ユニット



太平山ユニットは入居者様10名の内、60~70歳代の方が5名おり、比較的若い入居者様が多いユニットです。温厚な性格の方が多く、和やかな雰囲気の中で生活されています。食べる事が好きな方が多く、月に2回は皆さんからのリクエストを聞いて、食レクの機会を設けています。健康のために毎日の体操も意欲的に続けており、これからも笑顔で元気に、スタッフと一緒に楽しく過ごしていただけるようにサポートしてまいります。

太平山ユニットリーダー 佐藤(岳)

ユニット紹介

お花見ドライブ

毎年恒例のお花見ドライブでは、少し遠回りして大森山動物園へお出かけし、綺麗な桜道を走りながら春の景色を楽しみました。暖かな陽気の中、皆さん笑顔で過ごされました。



お寿司の日

キャッスルホテルのお寿司職人の方が目の前で握ってお寿司を提供してくれます。みんなでお寿司を握ってできるところを見ながら、『美味しそうだなあ。』出来上がったお寿司に大変喜んでいただきました！



ハロウィン

衣装した大森山ユニットの利用者さんです。他のユニットを練り歩き、魔女たちが手をつないで歩く姿がとても可愛しかったです。お菓子ももらいながら、似合う仮装姿に大喜びでした。



節分



節分イベントの日、赤鬼と青鬼が登場すると、入居者の皆さんは興味津々でどの職員が鬼に扮しているのかを探っていました。鬼たちが近づくと、笑顔と歓声があふれ、楽しい雰囲気に包まれました。みんなで「鬼は外、福は内」と元気よく丸めた新聞紙やビニールボールをまき、笑顔でいっぱいひとときでした！



鬼は外、福は内！